

# 財団法人起業家支援財団 平成21年度事業報告

## (1) 平成21年度（平成21年1月1日～平成21年12月31日）の 事業報告について

### I はじめに

#### (1) 事業の概要について

本財団は、アントレプレナー（起業家）教育や青年起業家の支援および若手経営者の支援を行うことにより、起業家精神を持つ有為な人材を次々と社会に数多く輩出し、もって神奈川県の実業の発展に寄与することを目的に活動する法人として設立した。

平成21年度は、財団活動の3期目に入り、年度の事業計画として①青年起業家支援事業②ベンチャー起業家支援事業③アントレプレナー教育事業④起業家表彰事業⑤アントレプレナー教育に関する調査及び研究事業の5事業に取り組むこととした。このうち当財団の主たる事業である青年起業家支援事業の中核である奨学金給付事業の対象者として、起業家支援財団第2期奨学生を24名採用した。これに、第1期奨学生の継続者6名、復学者1名、さらに6月末で活動を休止したNPO創業支援機構の奨学生8名（うち休学者1名）を受入れ、今年度の奨学金給付実績は述べ38名（除く、休学者1名）となった。

奨学生には、奨学金給付に加え、奨学生間の情報交換や先輩起業家や当財団関係者との勉強会、懇談会、合宿など学生起業塾を実施した。

また、ベンチャー起業家支援事業として、前年度に続き『第2回ベンチャー起業家と経営者をつなぐフォーラム』ならびに『経営道場'09』を実施した。これらの事業の実施にあたっては、特に県内経営者・ベンチャー起業家・金融機関・創業支援機関・自治体関係者などに対して情報提供するなど、財団活動への協力者・理解者の獲得に向けて努めた。

合わせて奨学生や経営道場受講者に対し、講義の中でコンプライアンスの重要性を強調した。

実施した事業の概要は以上の通りであるが、新たな試みとしては、調査研究事業として、県内・県外地域におけるインキュベーション施設に関するワーキンググループに参加したほか、『県内・県外地域におけるソーシャルビジネス起業支援』プロジェクトを助成財団に申請するなどした。

#### (2) 組織運営について

平成20年12月から施行された新公益法人制度に対応するため、当財団は公益財団法人への移行を決議し、平成21年11月に神奈川県に対し公益認定の申請を行った。

また、財団の組織基盤の確立と中期運営計画を策定するため、中期運営計画策定委員会（準備委員会）を組成し、『中期運営計画2015（案）』について検討を開始した。

さらに、当財団の役員（理事・監事）、評議員の任期が平成21年12月31日までのため、平

成 22 年 1 月以降の役員（理事・監事）、評議員を選任した。

このほか、財団運営に当たり、事務所経費の節減と業務の効率化等を図るため、9 月 1 日より、事務所を新横浜から横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 9 階に移転した。

## II 事業に関する事項

### 1. 青年起業家支援事業

#### 1-1 起業家を目指す学生に対する奨学金の給付

○第 2 期奨学生を 24 名、第 1 期奨学生から 7 名を採用し平成 21 年 4 月から 3 ヶ月ごとに奨学金を支給した。（一人当たり年総額 36 万円）

○NPO 創業支援機構で今年度採用した 8 名（休学 1 名を含む）については、財団奨学生として受け入れた。

○第 3 期奨学生の募集活動は以下の通り行った。

対 象 主として神奈川県に在住・在学の大学生・大学院生・高等専門学校生・専修学校生・各種学校生

募集方法 大学・公的機関等を通じて広く公募

応募期間 7 月 1 日から 10 月 30 日（継続申請は 11 月 27 日に応募締切）

選 考 奨学生選考委員会において選考

応募数 55 名（新規 38 名、継続 17 名）

○奨学生選考委員会

・NPO 創業支援機構の奨学生受け入れについて、7 月 16 日の臨時理事会・評議員会にて議決し、その後奨学生選考委員会の承認を得た。

・奨学生選考委員は、以下の通り。

松井利夫（委員長）、浅海典子、野村 滋、野坂英吾、田坂正樹の 5 名

・なお、第 3 期奨学生の選考委員は、平成 22 年 1 月から以下の通り。

松井利夫（委員長）、浅海典子、飯島伸一、栗田秀臣、福重広文の 5 名

#### 1-2 起業を目指す学生に対する指導・助言事業

##### (1) 学生起業塾

奨学生に対する起業・経営に関する指導・助言事業として今年度は学生起業塾を 8 回開催した。

在籍人数：第 1 期生 13 名

第 2 期生 31 名（第 1 期からの継続は 7 名。NPO 創業支援機構採用の奨学生も含め総勢 38 名）

No.	通算回数	開催日／場所	参加人数	内 容
1	7	1月18日 かながわ県民活動サポートセンター	20名	○奨学生によるプレゼンテーション ○米田佐知子氏（NPO 法人神奈川子ども未来ファンド）による講演
2	8	3月2日 関東学院大学関内メディアセンター	20名	○第1期奨学生（8名）によるパネルディスカッション ○藤倉潤一郎氏（プラットフォームサービス㈱代表取締役）による講演
3	9	4月24日 かながわ県民活動サポートセンター	24名	○奨学生によるプレゼンテーション ○植田紘栄志氏（㈱ミチキューポレーション代表取締役）による講演
4	10	6月19日 かながわ県民活動サポートセンター	25名	○奨学生によるプレゼンテーション ○関田仁志氏（サイバーレーザー㈱代表取締役社長）による講演
5	11	8月4日、5日 神奈川県経営者福祉振興財団葉山研修センター	14名	○起業プランブラッシュアップ研修 ○吉田英男氏（三浦市長）による講演 ○横浜製機㈱訪問および関根宗平氏（同社代表取締役社長）による講演
6	12	9月16日 神奈川中小企業センタービル	15名	○奨学生によるプレゼンテーション ○栗田秀臣氏（㈱ケイエスピー インキュベーション・インベストメントマネージャー）による講演
7	13	11月12日 神奈川中小企業センタービル	7名	○奨学生によるプレゼンテーション ○尾野寛明氏（㈲エコカレッジ代表取締役）による講演
8	14	12月16日 神奈川中小企業センタービル	23名	○奨学生によるプレゼンテーション ○事務局によるコンプライアンス研修 ○橋本真由美氏（ブックオフコーポレーション㈱取締役会長）による講演

## （２）個人面接

のべ6名の奨学生について個別面接を事務局が実施した。

### 1-3 その他

○平成21年度事業計画に掲げた（仮称）ビジネスプラン講座の開催、この分野に関心を持つ大学および大学教員のネットワークづくり（意見交換会など）については、今年度は奨学生によるプレゼンテーションを実施するのに止まり、十分な活動には至らなかったが、奨学生同士によるビジネスプランのブラッシュアップに努めることにより、講座の要件の発掘や整理に注力した。平成22年度にはより具体的に進める方向で調整中である。

○第3期奨学生の募集を終えて、引き続き、慶應義塾大学からの応募者が多数であるという状況が続いているが、今後とも、主として神奈川県内の諸大学への働きかけを強めていくことにより、多様な人材を発掘するよう努める予定である。具体的には、今年度より KBC 実行委員会（慶應義塾大学内）が主催する KBC Business Contest に対する協力を開始するとともに、今後、他大学との連携も予定している。

○大学間のネットワークづくりのため、関東学院大学、横浜市立大学、横浜国立大学、慶応義塾大学、法政大学などを個別に訪問し、ネットワークに協力していただける人材の発掘に努めた。

○奨学生には、他のビジネスプランコンテストへのチャレンジを奨励し、今年度の実績は下記の通りとなった。

奨学生氏名	賞（主催者）
岡崎雄太	NEXT ENTREPRENEUR 2009 AWARD（主催：株式会社ネクスト）にて優秀賞
豊田龍佑	「I-SHIN」（アジア学生起業家支援ファンド）ビジネスプランコンテスト（主催：アジア学生起業家支援ファンド）にて優秀賞
大木洵人	① 国際ビジネスコンテスト Global Tic（後援・台湾政府）にて最優秀起業家賞と最優秀展示賞の2冠受賞（大会史上初） ② 横浜ビジネスグランプリ 2010（主催：財団法人横浜企業経営支援財団）にてアンダー22部門優秀賞（部門最高位賞）受賞
矢島里佳	① 第6回キャンパスベンチャーグランプリ（主催：キャンパスベンチャーグランプリ東京実行委員会）にて特別賞 東京産業人クラブ賞受賞 ② 平成21年第8回学生起業家選手権（主催：東京都、財団法人東京都中小企業振興公社）にて優秀賞（3組のうち）受賞

## 2. ベンチャー起業家支援事業

### 2-1 「第2回ベンチャー起業家と経営者をつなぐフォーラム」の開催

日時 8月26日 15:00～19:30

場所 ホテル・キャメロットジャパン（横浜）

主催 当財団

後援 神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、財団法人神奈川産業振興センター  
一般社団法人神奈川ニュービジネス協議会、株式会社浜銀総合研究所

参加者 95名

内容 第1部『会津における食と農を通じた地域づくり』

本田 勝之助 氏〔有限会社会津食のルネッサンス 代表取締役／  
経済産業省「にっぽん e 物産市」プロジェクト地域エージェント

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター 原 良枝 氏〔フリーアナウンサー〕

パネリスト 加藤 京子 氏〔加藤花園／農業経営士〕、  
宮治 勇輔 氏〔株式会社みやじ豚 代表取締役社長／農家のこせがれネットワーク 代表〕

コメンテーター 本田 勝之助 氏

### 2-2 「ビジネス感性を磨く 経営道場」の開催

(1) ビジネス感性を磨く 経営道場'08

対 象 将来の新規起業や第二創業を目指す若手企業人など

期 間 平成20年10月10日より平成21年3月8日まで（全11回）

18:00～21:00（合宿を除く）

開催場所 神奈川中小企業センタービル

受講生 16名（定員15名）

主 催 当財団、NPO 創業支援機構

後 援 神奈川県、財団法人神奈川産業振興センター、日本ベンチャー学会

内 容 受講生は経営学・経営哲学などアカデミックな理論を学ぶとともに、先輩起業家による経営者魂を涵養する実践的な講演などを受け、自らの事業計画の策定などを進めている。

回	開催日	参加者	内 容
7	1月9日 自社とライバル企業を比較し、戦略オプションを考える	9名	講義：高橋義仁氏〔専修大学商学部 准教授〕 『ポジショニング・アプローチ』
8	1月23日 社員を動かす	9名	講演：仁科雅朋〔有限会社 Office Nishina 代表取締役〕 『モチベーション、コミュニケーション、リーダーシップ』
9	2月6日 経営者とは何かを考える3	6名	講演：秋草直之〔富士通株式会社 取締役相談役〕 『富士通のベンチャースピリット』
10	2月27日 財務体質を変える	7名	講義：森 勇治〔静岡県立大学経営情報学部 講師〕 『経営者のための経営分析の基礎』
11	3月8日 わが社をこう変える	11名	受講生による発表 トータルコーディネーター：大島昭浩〔日本工業大学大学院技術経営研究科 教授〕 講演：吉川智教〔早稲田大学ビジネススクール 教授〕 『21世紀のイノベーションとベンチャー』

## （2）ビジネス感性を磨く 経営道場'09

対 象 将来の新規起業や第二創業を目指す若手企業人など

期 間 平成21年9月17日より平成22年3月7日まで（全13回）

18:00～21:00（合宿を除く）

開催場所 神奈川中小企業センタービル

受講生 16名（定員20名）

主 催 当財団

後 援 神奈川県、財団法人神奈川産業振興センター、日本ベンチャー学会

内 容 受講生は経営学・経営哲学などアカデミックな理論を学ぶとともに、先輩起業家による経営者魂を涵養する実践的な講演などを受け、自らの事業計画の策定などを進めている。

回	詳細	参加者	役職
1	9月17日 オリエンテーション 経営者とは何かを考える1	16名	講師：大島昭浩〔日本工業大学大学院技術経営研究科教授〕 講演：倉橋泰〔株式会社ぱど代表取締役社長〕『経営危機の克服～いつも土壇場、常に修羅場、まさに正念場』
2	9月30日 経営者とは何かを考える2	16名	講演：上野保〔東成エレクトロビーム株式会社代表取締役社長〕『ものづくり中小企業の経営戦略』
3	10月17日、18日(合宿) 経営の何が問題なのか理解を深める 受講生による発表「自社の経営課題を語る」 講義と講演	15名	講師：大島昭浩〔日本工業大学大学院技術経営研究科教授〕 講演：藤原東演〔宝泰寺住職／サールナート会館館長〕『魅力あるリーダーとは』 講師：仁科雅朋〔株式会社グロースリング代表取締役〕『コーチング』 講師：小林孝雄〔当財団副理事長〕『コンプライアンス』
4	10月28日 経営戦略のフレームワークを理解する	13名	講義：高橋義仁〔専修大学商学部准教授〕 「5 フォース、SWOT などのフレームワークによる自社の分析方法」(演習つき)
5	11月11日 自社のマーケティングを見つめなおす	13名	講義：高橋義仁〔専修大学商学部准教授〕「マーケティング手法と4P・4C」(演習つき)
6	11月18日 自社とライバル企業を比較し、戦略オプションを考える	13名	講義「自社の経営戦略を立案する」高橋義仁〔専修大学商学部准教授〕
7	12月2日 社員の力を引き出し、組織力を高める	14名	講義：寺本明輝〔株式会社浜銀総合研究所 経営コンサルティング部 部長・首席コンサルタント、中小企業診断士・産業カウンセラー〕 『組織風土改革～コミュニケーション、モチベーション、リーダーシップの基本を学ぶ』
8	12月16日 経営者とは何かを考える3	15名	講演：橋本真由美〔ブックオフコーポレーション株式会社取締役会長〕『最強の現場の作り方』

### 3. アントレプレナー教育事業

将来を担う小中学生や高校生に対し、体験型のアントレプレナー教育を行い「協調性」「自立心」「判断力などを総合的に備えた人材を育てる。また、社会人に対し実践的アントレプレナー教育を行い、「洞察力」「実行力」「自立心」「判断力」などを総合的に備えた人材を育てる活動を展開する、ことを掲げたが、今年度は実施できなかった。

なお、大学において実施されるアントレプレナー教育に協力して、大学生、大学院生に対する「起

業家経営論」講座に取り組むため、横浜市立大学と協議を進めている。

#### 4. 起業家表彰事業

##### (1) かながわ“キラリ”チャレンジャー大賞

優れたベンチャー起業家の表彰事業として、「挑戦者にやさしいかながわづくり実行委員会（事務局：神奈川県）が主催する「かながわ“キラリ”チャレンジャー大賞」は今年度で5回目の開催となった（応募期間：平成20年7月～10月／表彰式：平成21年2月14日）。本実行委員会には、当財団専務理事が実行委員会メンバーとして参画した。

今年度5回目の実施にあたり、当財団は特に本事業の周知活動に努めた。なお、神奈川県は本事業について廃止を決定したが、当財団としては、県内に主たる事業所を置き活動しているベンチャー起業家や中小企業経営者の実績を公的機関が讃えることは有益と考えている。このため、時代にあった情報収集や企業評価の方策や体制などを再検討するため、引き続き情報収集に努めるとともに、県内の他の諸団体との連携を進め、平成22年以降も、起業家を顕彰する方策を検討していくこととする。

##### (2) かながわビジネスオー디션への協賛

日 時 2009年11月25日

場 所 神奈川中小企業センタービル

主 催 かながわビジネスオー디션実行委員会

※昨年度は、当財団ならびにNPO創業支援機構奨学生より3名が入賞したが、今年度は、挑戦したものの入賞者はいなかった。

#### 5.アントレプレナー教育に関する調査及び研究事業

##### (1) 都市型ソーシャルビジネスモデル構築に関する事業の実施

内 容 ソーシャルビジネスモデルの顕在化や成立要件の整理、地域課題解決の担い手育成のためのプログラム開発、ソーシャルビジネスに有効なしくみづくり、等

対 象 関内、関外地域

※調査研究費の獲得のため、『関内・関外地域におけるソーシャルビジネス支援』プロジェクトを助成財団に申請した。

##### (2) その他

ベンチャー起業家並びに起業家教育に関する以下の調査及び研究は、今年度は未着手となった。このうち、5-3の大学における起業家教育に関する実態調査については、国が大学・大学院起業家教育推進ネットワーク事務局（受託：大和総研産学連携調査部）を設置しており、取り組みの実態については調査がなされているので、神奈川県産業振興や、財団奨学生を対象にしたプログラムに活かすべく、調査の方向性を検討していくこととする。

#### 5-1 ベンチャー起業家並びに起業家教育に関する調査及び研究

内 容 アントプレナー教育に関する事例の収集並びに調査及び研究

対 象 先進事例の聴き取り調査

#### 5-2 学生における起業に関する意識調査

#### 5-3 起業家教育に関する実態調査

(①□ 国の先進事例②県内もしくは首都圏における小中高等学校及び大学の事例)

### 6. その他

#### 6-1 WEBサイトによる情報発信

組織概要、イベント案内、奨学生の募集などの情報提供を行った。

#### 6-2 事務局通信の発行

4月、7月、10月に事務局通信を発行し、財団関係者に向けて事業活動を報告した。

## Ⅲ 財団運営に関する事項

### 1. 理事会

平成21年度は理事会3回を開催し、各議案が審議・承認された。

#### (1) 平成21年度第1回通常理事会（平成21年2月24日／ホテル・キャメロットジャパン）

決議事項 第1号議案 平成20年度の事業報告及び収支決算について

第2号議案 奨学生選考委員会委員選任について

第3号議案 特定非営利活動法人創業支援機構との業務委託契約の改定について

報告事項 第1号報告 中期運営計画策定委員会について

#### (2) 平成21年度第1回臨時理事会（平成21年7月16日／当財団事務所）

決議事項 第1号議案 寄附行為の変更について

第2号議案 奨学金給付規程の変更について

第3号議案 賛助会員規約の新設について

第4号議案 専務理事の互選について

第5号議案 特定非営利活動法人（NPO）創業支援機構(以下、機構)の清算に伴い、機構の第2期奨学生の移管を受けることについて

第6号議案 機構の残余財産の譲受について

第7号議案 最初の評議員選考委員会の設置について

報告事項 第1号報告 平成21年度の業務経過報告について

第2号報告 公益財団法人移行準備の進捗状況について

(3) 平成21年度第2回臨時理事会（平成21年10月29日／神奈川中小企業センタービル）

決議事項	第1号議案	現行財団法人の評議員の選任の件
	第2号議案	最初の評議員選考委員会委員の承認の件
	第3号議案	最初の評議員候補者案の承認の件
	第4号議案	奨学生選考委員会委員の選任の件
	第5号議案	理事長、副理事長、専務理事の選任の件
	第6号議案	公益認定後、最初の代表理事、執行理事の選任の件
	第7号議案	平成22年度事業計画、収支予算案の承認の件
	第8号議案	公益認定申請の承認の件
	第9号議案	定款案の承認の件
	第10号議案	諸規程、規則の制定、改廃の承認の件
報告事項	第1号報告	公益認定の申請について
	第2号報告	事務所の移転完了について
	第3号報告	平成21年度事業計画、収支予算の進捗状況について

## 2. 評議員会の開催

平成21年度は評議員会3回を開催し、各議案が審議・承認された。

(1) 平成21年度第1回通常評議員会（平成21年2月24日／ホテル・キャメロットジャパン）

決議事項	第1号議案	平成20年度の事業報告及び収支決算について
	第2号議案	特定非営利活動法人創業支援機構との業務委託契約の改定について
報告事項	第1号報告	中期運営計画策定委員会について
	第2号報告	奨学生選考委員会委員の選任について

(2) 平成21年度第1回臨時評議員会（平成21年7月16日／当財団事務所）

決議事項	第1号議案	寄附行為の変更について
	第2号議案	奨学金給付規程の変更について
	第3号議案	賛助会員規約の新設について
	第4号議案	特定非営利活動法人（NPO）創業支援機構(以下、機構)の清算に伴い、機構の第2期奨学生の移管を受けることについて
	第5号議案	機構の残余財産の譲受について
	第6号議案	最初の評議員選考委員会の設置について
報告事項	第1号報告	平成21年度の業務経過報告について
	第2号報告	専務理事の互選について
	第3号報告	公益財団法人移行準備の進捗状況について

(3) 平成21年度第2回臨時評議員会（平成21年10月29日／当財団事務所）

決議事項	第1号議案	現行財団法人の理事、監事の選任の件
	第2号議案	平成22年度事業計画、収支予算案の承認の件
	第3号議案	公益認定申請の承認の件
	第4号議案	定款案の承認の件

	第5号議案	諸規程、規則の制定、改廃の承認の件
報告事項	第1号報告	公益認定の申請について
	第2号報告	最初の評議員選考委員会委員の選任について
	第3号報告	最初の評議員候補者案の承認について
	第4号報告	奨学生選考委員会委員の選任について
	第5号報告	理事長、副理事長、専務理事の選任について
	第6号報告	公益認定後、最初の代表理事、執行理事の選任について
	第7号報告	事務所の移転完了について
	第8号報告	平成21年度事業計画、収支予算の進捗状況について

### 3. 最初の評議員選考委員会の開催

日時 平成21年11月11日

場所 神奈川中小企業センタービル

決議事項 (1) 第1号議案 最初の評議員候補者案の承認の件

報告事項 (1) 第1号報告 公益認定の申請について

(2) 第2号報告 平成21年度事業の進捗と平成22年度事業計画、収支予算について

### 4. 中期運営計画策定委員会（準備委員会）

#### （第1回）

日時 平成21年7月7日

場所 日本起業家協会会議室

報告事項 1) 中期運営計画策定委員会の設置目的と役割について

2) 当財団の公益法人資格取得申請の進捗について

3) 今年度の事業の実施予定について

意見交換 1) 当財団の設立経緯から見た財団の現業務内容について

2) 現状と課題について

3) 整理すべき項目について

4) 新たな資金源やタイアップ先の開拓について

#### （第2回）

日時 平成22年2月17日（予定）

以上